

新企画

多彩なものづくりを展開する 庵治産地の「石屋の奥さま」4名

カフェエトック



美味しいコーヒーやお茶を片手に、リラックスしながらおしゃべりを楽しむ新企画「カフェエトック」。今回は独自の視点を活かしたものづくりに取り組む庵治産地（香川県高松市）の「石屋の奥さま」4名にご登場いただきます。それぞれの、ものづくりに込める想い～石屋の奥さまあるある等々、様々なテーマについて楽しく語り合っていました。

自己紹介からスタート
はじめに自己紹介をお願いします。
和泉 えっ、もう始まるんですか？ちよっと息切れが...

覚めるみたいな感じで、それくらい石が身近な環境で育ちました。
趣味といえるかわからないですが、書道は続けてやっています。もともと小さい頃に習っていたのですが、子供が習い始めたことをきっかけに、私も一緒に習いたいです。私と一緒に習いたいです。私と一緒に習いたいです。

すね(笑)
一同(笑)
和泉 事前にもらった質問事項を見て、いろいろ考えていたら、いっぱい出てきて(笑)。

和泉 私は高松市の伏石の出身で、結婚を機に牟礼にきました。趣味は、田淵さんと一緒に、ものを作ることにすね。食器に絵付けをしたり転写紙を貼って模様を付けるようなことが好きで、資格も取りました。

田淵 私は岐阜県出身で、高松へお嫁にきました。趣味は、ものを作ることです。子供が小さい頃は子供服を作ったりもしていました。子育てとかに追われて、なかなか出来ませんでした。

山田 私は高松市の塩江の出身で、晶子ちゃんと同じく、結婚して牟礼にきました。ちなみに晶子ちゃんとは高校の同級生になるんですよ。子供も

山田 私たちのお二人とも岡崎へ修業にも行ってますよ。
山田 そうなんです。それからお顔立ちで、旦那さまにも、どことなく似ている感じもしますよね。牟礼 いや、似てないですよ(笑)。

山田 私たちのお二人とも岡崎へ修業にも行ってますよ。
山田 そうなんです。それからお顔立ちで、旦那さまにも、どことなく似ている感じもしますよね。牟礼 いや、似てないですよ(笑)。

山田 私たちのお二人とも岡崎へ修業にも行ってますよ。
山田 そうなんです。それからお顔立ちで、旦那さまにも、どことなく似ている感じもしますよね。牟礼 いや、似てないですよ(笑)。

山田 私たちのお二人とも岡崎へ修業にも行ってますよ。
山田 そうなんです。それからお顔立ちで、旦那さまにも、どことなく似ている感じもしますよね。牟礼 いや、似てないですよ(笑)。

山田 私たちのお二人とも岡崎へ修業にも行ってますよ。
山田 そうなんです。それからお顔立ちで、旦那さまにも、どことなく似ている感じもしますよね。牟礼 いや、似てないですよ(笑)。

く楽しく、それが今の取り組みに繋がっていると思います。それから運動するのも好きで、ソフトボールやバレーボールをしたり、山登りなどもやっています。
旦那さんと一緒に運動されるのですか？

田淵 あの人はいらないです(笑)。旦那さんも自分の趣味があって、それぞれの趣味をお互いに邪魔しないことも大事ではないかなと思っています。
好きだった有名な人は、たのきん世代なので、その中ではマッチが好きでした。最近ではナオト・インテライミも好きです。

山田 私は高松市の塩江の出身で、晶子ちゃんと同じく、結婚して牟礼にきました。ちなみに晶子ちゃんとは高校の同級生になるんですよ。子供も

山田 私たちのお二人とも岡崎へ修業にも行ってますよ。
山田 そうなんです。それからお顔立ちで、旦那さまにも、どことなく似ている感じもしますよね。牟礼 いや、似てないですよ(笑)。

山田 私たちのお二人とも岡崎へ修業にも行ってますよ。
山田 そうなんです。それからお顔立ちで、旦那さまにも、どことなく似ている感じもしますよね。牟礼 いや、似てないですよ(笑)。

山田 私たちのお二人とも岡崎へ修業にも行ってますよ。
山田 そうなんです。それからお顔立ちで、旦那さまにも、どことなく似ている感じもしますよね。牟礼 いや、似てないですよ(笑)。

山田 私たちのお二人とも岡崎へ修業にも行ってますよ。
山田 そうなんです。それからお顔立ちで、旦那さまにも、どことなく似ている感じもしますよね。牟礼 いや、似てないですよ(笑)。

山田 私たちのお二人とも岡崎へ修業にも行ってますよ。
山田 そうなんです。それからお顔立ちで、旦那さまにも、どことなく似ている感じもしますよね。牟礼 いや、似てないですよ(笑)。



田淵真澄さん
田淵石材(株)・田淵康光社長の奥さま。庵治石柄の生地「Aji stone fabric」を活かしたバッグや風呂敷、ネクタイ、ペンケース、ぬいぐるみなどを手掛けている。



和泉恵美さん
陶石材商 太元屋・和泉恵社長の奥さま。庵治石に囲まれた空間「aji stone interior room e Moyō」をOPEN。庵治石細目「KURO」に模様を手彫りした小物やモザイクタイル調に加工デザインした「STONE PANEL」を発表。今春から「BUNCHIN」販売開始。

今も作品は作っていて、以前に買っていたいただいたお客様からご注文をいただいたり、外国の方へのお土産用にまとめて買っていたこともありました。
今後は「ネットでの販売」とは

お墓の改葬をされる際、骨壺を出して、再度、カロートへ入れ直すことになると思いますが、誰のお骨が入っているのかわかるように、ガムテープに名前を書いて貼っておいたり、直接マジックで書くようなこともあるみたいで。ただ、それだと、年数が経つと消えてしまうことがあったり、見映えとしても、どうかということなので、名前を入れて欲しいというご注文は多いです。
もちろん、名前だけでなく、写真を入れたり模様を付けたりするなど、いろいろなお要望に対応しています。骨壺以外で作っていて、ペットのお墓などとしてご利用いただいているケースも多

んが行なっている「ものづくり」について教えてくださいます。順番を逆にして、山田さんからお願います。
山田 庵治石という、墓石や庭石、灯籠などに使われる貴重な石というイメージが強かったのですが、端材となるコップもたくさんあるんですね。主人から「このコップは使わないから捨ててしまおう」と聞いて、もったいないなと思ったんです。それで、この庵治石のコップとツールペイントや押し花を組み合わせて、自分でもかわいいと思うものを作り出したのが始まりです。
えっ、旦那さんの声から始まったと。
牟礼 そうなんです。私が趣味で絵付けなどをしていることを知っていたので、そのような要望を、あの方があげられたので、はじめに「模様を付けてみよう」ということから始まったのですが、だんだんと、「写真は入る？」「文字は？」と、要求が増えてきて。
(机の上にある商品を見ながら) タイガースの帽子をかぶった旦那さんの笑顔が、なんともいい感じに見えます。
牟礼 この表情ですね(笑)。ただ、実際に作ってみたら、確かに温かみが増しているのを感じて、他にもいろいろな種類を作ってみようという気持ちになってきました。
お客様からのご注文で多いのは、骨壺に名前を入れて欲しいというものが



